キャラクター名
”諏訪ハクア”(すわ·はくあ)

プレイヤー名

シンドローム	オルクス エグザイル	ワークス	ゼノスレネゲイドビーイングA	カヴァー	巫女
オプショナル		年齢	?(外見18)	性別	女人格
覚醒	償い	衝動	吸血	初期侵食率	40 %
出自	転生体	経験	大失敗	邂逅	諏訪ハクア

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	0			3
感覚	2		0			2
精神	1		0			1
社会	3		0			3

HP	27
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：ゼノス	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
人喰ノ白蛇	白兵	5r+11		8		侵蝕:5 祭典:3 妖精:4 アバター:2
-トビノオ-	白兵	9r+13	100%	18		シャイン:6 蛇剣未使用時はダイス+1,至近
力の法則		0		+5D		侵蝕:4 ラウンド1回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
U/スネークブレード(IC)	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
転生者	P	N		
諏訪ハクア	P 遺志	N 悔悟		
諏訪ミハル	P 慈愛	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8	残り財産P： 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	(+5)	常時					
効果： 衝動判定ダイス+1								
オリジン:レジェンド	1	2	マイナー		自身			
効果： 【精神】達成値+2(4)/シーン中								
アバターフォーム:白兵	3	2	マイナー		自身			
効果： <白兵>達成値+6(8)/シーン中　オリジン中不可								
コンセ:エグ	2	2	メジャー	-	-	シンドロ		
効果： C-2(3)下限7								
貪欲なる拳	2	3	メジャー	武器	-	<白兵>		
効果： ダイス+3(4)								
異形の祭典	1	3	メジャー	-	LV+1体	シンドロ		
効果： 2(3)体化　シーン1回								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体			
効果： 判定直後　ダイス1つ10に　判定1回、シナリオ3(4)回								
力の法則	3	4	オート	視界	単体		100%	
効果： ダメージロール直前　ダメージ+5D　自分以外　ラウンド1回								
シャインブレード★転生者	7	2+4	マイナー		自身		100%	
効果： 武器1つ　攻撃力+10/シーン中								
擬態の仮面	★							
効果： その場に適した姿に変化　"姉"に擬態								
猫の道	★							
効果： "近道"を作る								
効果：								
効果：								

★"妹"　https://charasheet.vampire-blood.net/2854272

「いってらっしゃい、ミハル」
「人を誑かし堕落させる、悪い蛇なんですよ、私は。それでも……信じてくれるんですか?」

某県に隠れ潜む蛇神、"ヤトノカミ"の使いの一匹。
現在は"ヤトノカミ"を信仰する神社の娘、「諏訪ミハル」という者の亡くなった姉「諏訪ハクア」に化け、二人で暮らしている。
"妹"ミハルが主の眷属に下ってしまったため、現在は正真正銘同じ立場。
常に穏やかな笑みを崩さないが、有事には人外としての冷酷さも見せる。

《オリジン:レジェンド》を使用することで白蛇の姿になるが、滅多に使わない。
基本的に人間体、"ハクア"の姿を保ったまま戦闘を行うが、
エフェクト使用時は一時的に手足を変形させる。
己のレネゲイドを染みこませた刀剣を用い、鞭のように撓らせて変幻自在の攻撃を行うほか、
ハクアが使える"筈だった"武器を強化する能力も使う。

ハクアの諏訪家は"ヤトノカミ"と代々契約しており、ハクアはその代償として送られてきた供物だった。